

原発がこわい女たちの会  
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2013年07月 | トップ | 2013年09月 》

検索

2013年08月05日(月)

 検索

脱原発わかやまより講演会のお知らせ

アーカイブ

原発再稼働は危険！  
福島原発 事故の原因は未解明

講師には、藤原節男さん(元・原子力安全基盤機構 検査業務部調査役)を迎えます。

【日 時】 8月17日(土)13時半  
【会 場】 紀南文化会館(4階) 研修室  
(田辺市新屋敷町1番地 電話 0739-25-3033)  
入場無料

【主 催】 脱原発わかやま  
【連絡先】 080-5315-5586 寺井拓也

参議院選挙のあった翌日7月22日、福島第一原発で汚染水が海に漏れ出ていたことを東電が発表しました。東電は事実を数ヶ月前から把握し、規制庁も18日には報告を受けています。選挙のおわるこの日まで公表を引き延ばしていたのでしょう。国民を愚弄するにもほどがある！といたいところですが、もっとも汚染水漏れが海を汚染することは当初からさやかれ続けていたけど、汚染水に限らず、作業員の被ばく、除染の不備、さまざまなトラブルを隠し、隠しきれない情報は小出しにしかも後出しにされてきて、私たちは、いつのまにか「あ～あ、またやってるね」となってしまう。そんな情報操作がこわい。

講師の藤原節男さんは、チラシのプロフィールにもありますが、原子炉メーカーや原子力安全基盤機構で30年間、原発技術者として働いてこられた方です。同機構は経産省の旧・原子力安全・保安院の実働部隊の立場で、全国の原発の検査を行ってきました。ここで藤原さんが手がけた原発検査に対し、上司から記録改ざん指示がなされました。藤原さんはこれを拒否し、検査記録の改ざんや公益通報のみみ消しの不当性について声を上げておられます。危険性があったことを放置したり無かったことにしてしまうと、日本のどこかの原発でいつまでも同じような事故が起こり続ける、との信念から。

事故が起これば壊滅的な被害をもたらす原発は、ウソやごまかしは決して許されないということを再確認する意味でも、講演をお聴きしたいと思います。お盆休み中、田辺市での開催となりますが、よろしくお願ひします。

(sora)

[講演会チラシ](#) (表・裏)

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

**原発講演会**

## 原発再稼動は危険！

### 福島原発 事故の原因は未解明

～原爆と原発の原理は同じ。同じ危険性を持つ～ 記録映像解説

～福島第一原発3号機で核爆発！～ 記録映像解説

講師 **藤原節男** 氏

(元・原子力安全基盤機構 検査業務部調査役)



【日時】 8月17日(土) 13時半

【会場】 紀南文化会館(4階) 研修室 **入場無料**

(田辺市新屋敷町1番地 電話 07399-25-3033)

通常は、安全設計基準のとおり、使用済燃料プール内の燃料集合体はどのような状態になっても、臨界にならないように設計されている。しかし、福島3号機の場合は、爆発が生じるまでに、既に臨界になっていた可能性がある。冷却水が少なくなり、燃料被覆管上部が溶けて、中の燃料ペレットが崩れ、積み木崩しの塊状になった。塊状になった燃料ペレットが、臨界量以上のウラン対水比率となり、沸騰水型原子炉しながら、小出力で臨界状態となり、水が沸騰していた。それが、プール上方での水素爆発の圧力で、沸騰水中の水蒸気が圧縮された。3号機使用済燃料プール爆発時のビデオを観ると、爆発音が3回聞こえる。最初の爆発音は、水素爆発、2回目、3回目の爆発音は核爆発と推測される。結論、福島3号機爆発は、沸騰水中のボイド消滅事象による急激な反応度増加(即発臨界、核爆発)であったと推測できる。

<http://www.youtube.com/watch?v=0i2mLqWnJgc&feature=related>

(注)ビデオ爆発音は撮影時のものではなく、後付け、偽造との話もある。

**講師 プロフィール**

みなべ町出身。灘高校、大阪大学工学部原子力工学科を卒業。1972年4月、三菱原子力工業(後に三菱重工と合併)に入社。その後、日本原子力研究所を経て、2005年に原子力安全基盤機構(勤務し、検査業務部調査役に)。2009年3月、北海道電力泊原発3号機の使用前検査を手がけ、組織的な検査記録改ざんなどを公益通報するために勤務先である原子力安全基盤機構を、2010年3月に解雇された。現在は「脱原発派」として執筆、および全国各地に講演活動を行っている。著書に『原子力ドッキホーテ～原発の検査データ改ざん命令に背いた男の訴え～』(2012年4月13日ゼンにち出版)。福島3号機爆発DVD(パソコン用)を全国配布中。紀伊民報(2013年5月24日)コラム水鉄砲に紹介記事。

【主催】 脱原発わかやま 【連絡先】 080-5315-5586 寺井拓也

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

**最新コメント**

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)  
そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)  
コメントありがとう by sora(12/05)  
突然すみません。東京 by 里美(11/22)  
10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)  
starさんコメントあり by sora(09/14)  
このブログを読むまで by star(09/13)  
こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)  
現在稼働している大飯 by star(04/09)  
廃炉産業を起こしてほ by kazivarayosiyuki(03/14)

**カレンダー**

< 2013年08月 >

日	月	火	水	木	金	土
					1	2 3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

**最新記事**

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

**藤原節男著 『原子力ドッキホーテ』**

～原発の検査データ改ざん命令に背いた男の訴え～

(ゼンにち出版)

**書評** 2013年5月24日『紀伊民報』コラム「水鉄砲」

その本を読み終えた後、しばらくは立ち上がれなかった。それほど衝撃だった。書名は『原子力ドッキホーテ』(ゼンにち出版)。「原発の検査データ改ざん命令に背いた男」という副題がある。▼著者はみなべ町北道出身の藤原節男さん(64)。大阪大学工学部原子力工学科を卒業して、現在の三菱重工に入社。その後、日本原子力研究所を経て原子力安全基盤機構に勤務していた生粋の原発技術者である。▼藤原さんは2009年春、北海道電力泊原発原子力発電所3号機の使用前検査を担当。その際、組織的なデータ改ざんが行われたことを、法律に基づいて「公益通報」したことで翌年、解雇された。▼本では検査記録の改ざん命令から始まり「原子カムラ」と呼ばれる電力業界とメーカー、官僚組織、研究者、マスコミが一体となった原子力行政の暗部を、当事者の実名をあげて告発している。▼驚いたのは、福島原発事故の3日前に経産省記者クラブの記者たちに「この公益通報が無視されたままの状態が続けば、明日にでもチェルノブイリ級の重大事故が生じる可能性があります」とメールで発信していることである。そして、予告どおりの重大事故。3号機の爆発は政府、東京電力のいう水素爆発ではなく、核爆発だったという。▼自らの立場を脱原発派であり、原子力研究推進派と位置付けたくうえで「まずは原子カムラを解体すること」と、繰り返し説く著者の主張には説得力がある。(石)

2013-08-05 | 記事へ | コメント(0)

原発がこわい女たちの会  
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

[トップ](#)

[RSS](#)

ID:

PASS:

サイト管理者 ▼

[ログイン](#)

[SSLモードでログイン](#)

BLOGariは2017年1月末  
サービス終了します

RSS 2.0